

燕の魅力を皆さんにお伝えします

今年1月、地域おこし協力隊^(注1)に着任した青池佑介さんは、宮町の「まちトープ」^(注2)を拠点に交流・応援（燕）人口創出に取り組んでいます。活動にあたっての今後の抱負などを伺いました。

「燕三条駅に降りた人に、ただ通過するだけではなく、この地域の魅力をもっと感じてもらえないだろうか」
三条市出身で、東京で会社員をしていた青池さんは、地元に戻るたびに、駅で同じように新幹線から降りる人を見て思っていたそうです。ちょうどその頃、燕市の協力隊員募集を見つけた。地域の魅力を市外・県外の人に伝える活動内容に『これだ!』と思い、応募しました。燕市に対しては、金属洋食器と鋳起銅器のイメージが強かったと言う青池さん。着任後に感じた燕の魅力をこう語ります。

「宮町周辺の商店街に若い人たちが楽しめる新しい施設ができていて、それらの再開発に関わっている人たちのエネルギーがすごくて、活気があるまち



あおいけ ゆうすけ

青池 佑介さん(井土巻五丁目)

●燕市地域おこし協力隊（地域振興課）



▲「燕はこんなにもおいしい」をInstagramで発信中!

▲イベント参加者の皆さんと交流する青池さん（写真中央）

だと感じました。吉田地区や分水地区も同じようにエネルギーをもった人たちが多く、燕市で活動していくことが楽しみです」
青池さんの活動内容は、まちトープを拠点とした、市内外の人々との交流創出に繋がるイベントの企画や、燕の魅力発信です。
これからの活動と将来の夢をお聞きしました。

「趣味の料理を活かし、地元食材をPRするイベントなどの企画や、市内外のイベントにも参加して、燕の魅力を伝えていきたいです。協力隊の任務を終えた後は、燕三条駅周辺で、新幹線で行き来する人たちのおもてなしと、この地域の情報発信ができる拠点をつくりたいです」

(注1)市町村が都市部からの人材を受け入れ、「地域おこし協力隊」として委嘱。一定期間、地域に居住し、住民支援をはじめ、地域ブランドや地場産品のPRなどの「地域協力活動」を行ってもらいながら、その地域への定住・定着を図る取り組み。

(注2)カフェ併設の複合施設で、シェアラウンジ、ショップ・ギャラリー、民営図書館、自習室などの機能を持つ。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



令和7年度当初予算案を公表しました。一般会計予算の総額は492億6千300万円で、前年度比2.6%の増となりました。

「日本一輝いていくまち燕市」の実現に向けて、未来への期待がふくらむよう、『子育てするなから燕市で』と評価される施策や『安全・安心や活気をもたらす施設整備』を重点に置きながら、引き続き「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援（燕）人口戦略」の3つの人口戦略を柱に据えた各種施策を進化・深化・真価させる内容としました。

今後、市議会3月定例会での審議を経て成案化を図ります。

◀こちらは有料広告です。

NCT

は子育て世代を応援します!

インターネット 1Gbps + ケーブルテレビ + 固定電話

月額/税込 **7,150円** → 月額税込 **6,820円**

※本割引の適用はNCT光インターネット「1Gコース」または「10Gコース」のご契約が必要です。また、トキっ子くらぶ会員であることが条件となります。他にも適用条件がございます。詳しくはお問い合わせください。

インターネット・ケーブルテレビ・電話 **エヌ・シー・ディ** **0120-080-009** 電話受付時間 **9:30~17:30** (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00) ※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。